

V42a **TMT 超大型光赤外望遠鏡計画の進捗**

山下卓也 (国立天文台) ほか TMT プロジェクト室一同

国立天文台は、カリフォルニア大学、カリフォルニア工科大学、カナダ天文学大学連合との国際協力で次世代超大型望遠鏡 TMT(Thirty Meter Telescope) の建設実現を目指している。2008 年 11 月の覚え書き交換により協力機関として活動してきたが、建設準備に国立天文台内予算の投入を始めたこともあり、2010 年秋の覚え書き改訂により、正式な初期メンバーとなるべく交渉を進めている。建設サイトはハワイ島マウナケアのすばる望遠鏡の近隣である。現在は、2012 年 4 月に建設を開始することを目指して、各パートナーの役割分担を決め、メンバー各国政府に建設予算要求する段階にある。日本は主鏡セグメント鏡の鏡材の製造と研磨を大きな寄与の柱として開発を進めており、2010 年度は主鏡セグメント鏡製作の核心技術の実証を完了したい。また、観測装置については、開発・製作が決定している第一期観測装置への参加と共に、日本がリードして開発する予定の第二期装置の検討を進めている。講演では、計画の進捗状況、国際パートナーの状況、日本の分担貢献内容の検討状況などについて報告する。